



世界石油会議について

2017年7月9日～13日の5日間、第22回世界石油会議がイスタンブールで開催された。石油・ガス分野の関係者が一同に会する世界最大規模の会議であり、3年毎に開かれている。今回は、「未来へのエネルギーの架け橋」をテーマに、世界90か国から約3,000人が、日本からは当社を含めて17機関58名が参加した。会議では、石油・ガス関連の政府・公的機関や企業のトップより、将来の展望や戦略が示されるとともに、開発・生産、石油精製・石油化学製造、製品市場・流通などの分野別セッションに分かれて、各国の専門家同士により活発な議論が展開された。

当社は、石油精製・石油化学分野での講演および将来エネルギー分野でのポスター発表を通じて、技術成果を報告した。特に、新規アロマ製造技術に関する発表では、時間を超過しても質問がやまず、その成果が大きく注目された。

(中央技術研究所 技術戦略室 エネルギー技術グループ 壺岐 英)

<当社からの発表>

「新規アロマ製造技術：FCA (Fluid Catalytic Aromatizing)」(講演)

「有機ハイドライドによる水素供給技術の開発」(ポスター)



「石油精製と石油化学の統合」のフォーラムでの新規アロマ製造技術の講演の様子；
写真右は岩佐社員(中央技術研究所 先進エネルギー研究所)



イスタンブール大会の会場 (Istanbul Congress Center)



「JASO DH-2F」認証の省燃費ディーゼルエンジン油 「ディーゼルグランド DX 0W-30」を新発売

近年、改正省エネ法や燃費基準等の法規制が強化され、省燃費への要求がますます高まっており、各ディーゼル車両メーカーでは、エンジン油を含めた燃費向上への取組みが進められている。こうした中、JASO（日本自動車技術会規格）においても、大型車用省燃費ディーゼルエンジン油規格「JASO DH-2F」が昨年10月から新たに導入された。

当社は、新規格を踏まえ、独自の高性能合成基油と添加剤配合技術により、大型車両ディーゼルエンジン油としては業界で初めて、SAE 0W-30という低粘度を実現したディーゼルエンジン油を開発し、「ディーゼルグランド DX 0W-30」として2018年2月26日に発売した。

最新規格「JASO DH-2F」に適合した省燃費ディーゼルエンジン油「ディーゼルグランド DX 0W-30」は、高温域でのエンジン保護性能を維持したまま、実用温度域での粘性抵抗を可能な限り低減することで、当社ラインアップの中でも群を抜く省燃費性能(*)を有している。

当社は、ますます高まる環境ニーズに対応するため、今後も環境配慮型商品の開発を推進していく。

(潤滑油カンパニー 潤滑油販売部 自動車用潤滑油グループ 瀧 伴弘)

(*) 従来品 5W-30 油との比較で約 1.0%以上の省燃費効果 (シャシダイナモ試験結果)、また、従来品 10W-30 油との比較で約 7.7%以上の省燃費効果 (実車試験結果)

【当社ディーゼルエンジン油ラインアップ】

商品名	ディーゼルグランド DX			ディーゼルグランド		ディーゼルDH-2/CF-4	
	0W-30	5W-30	0W-40	10W-30	15W-40	10W-30	15W-40
JASO / API規格	DH-2F / CF-4相当			DH-2 / CF-4相当			
商品特性	省燃費性	◎◎	◎	○			
	長寿命性	○	○	○	○	○	
	基本性能	○	○	○	○	○	○
	燃料希釈対応			○		○	○

